

## ◇ 全私保連定期総会

3月の第40回総会に続き、5月31日には、東京・台東区民会館にて第41回定期総会が開催されました。この総会の模様は、すでに「全私保連ニュース No100」にもあるように、平成18年度事業報告・決算報告、「声明文」、役員改選等について審議され承認されました。

尚、総会の状況については、後ほどの保育通信に掲載されるようです。

## ◇ 全私保連予算対策委員会

6月14日、今年度第1回の予算対策委員会が、衆議院第二議員会館で開催され、島根から古川会長、志田尾予対部長、堀江副部長が出席しました。

この委員会では、平成19年度国会請願項目、平成20年度に向けた要望事項について協議されました。また終了後には、地元国会議員の方々へ陳情行動を展開しました。

尚、例年の請願署名並びにカンパ活動も今年度も続いて行います。加盟園の皆様には8月頃のご案内になると思いますので、ご理解ご協力のほどをお願いします。

## ◆ 島根私保連理事会

改選後の初回でもある平成19年度第3回の理事会を、6月21日出雲市・ラピタウエディングパレスで開催しました。

去る5月31日に開催された全私保連定期総会の状況では、役員体制、直接契約・市場化の動きに対する「声明文」、厚労省から行政説明のあった「保育行政を取り巻く諸問題」について、また島根県内の「認定こども園」の状況等、報告がありました。

専門部の状況については、予対部・研修部・広報部・調査部・事業部より、今年度の取り組み計画等について、説明がありました。

特に、予対部は、前述しましたように全私保連の予対活動に連動し、また島根県内保育三団体の活動を重点にします。研修部では、8月17～18日に保育担当、9月7～8日には調理担当の各研修の予定があり、近いうちに各園にご案内することになります。広報部は2月に広報誌の発行、調査部は理事から過疎の現状や振興策などの意見もありましたが、それとは別に具体的なことについては計画中、事業部については、主にAIUの「キッズガード」の利用促進を図ることとしています。広報部や調査部では、場合によって皆様に原稿の依頼や調査のご協力をお願いすることがあるかと思えます。その際にはご理解ご協力をお願いします。また「キッズガード」についても、毎年2月頃に各園に届くパンフレットを配布するなどして加入促進を保護者の皆様に働きかけていただきたいと思います。

尚、事業部には、担当部長が決まっていませんでした。これは専門部の数ほど理事数がないためであって、正副長会議で選任の調整協議し、部長に板木副会長、副部長に吉田事務局が再度兼任することを、理事会で了承されました。

今回の理事会では懸案事項ともいえる議題、私保連の加盟要件（資格）については、午前中の正副長会議で協議し、理事会へ提案しました。このことについては、昨年度も理事会では保留となっていたことでもあります。これは、まず全国も島根県内に於いても公立保育所の民営化が進んでいます。こうしたなかで、島根私保連では、社会福祉法人（設置主体が法人）立の保育園だけを加盟園とすることで昨年度までは確認をし、その他の園については加盟保留としていました。しかし民営化といっても、公設民営・指定管理者制度、民設民営とさまざまです。そして「認定こども園」が存在する今日です。この日の理事会ではいろいろな意見があり、今後も検討続けて今年度中に結論を出すことにしました。

その他、保育通信8月号の「子育てルネッサンス運動」原稿執筆は、隠岐・シオン保育園の大野園長に依頼、第50回全国大会の第11分科会で、出雲サンサン保育園の須谷園長が提案発表をされます。

最後に、島根青年会議山口会長から、今年度の青年会議の取り組み等状況について報告がありました。